講　演　会

戦争を語りつくす
70 年語れなかった記憶
～母と妹をあやめた～

10 月 26 日（土）13 時半～16 時半
会場：三鷹駅前コミュニティ・センター
地下 1 階　大会議室
講師：村上敏明さん

ご講演いただく村上さんは、毎週電力会社前で脱原発のアピールをし、改憲阻止の署名活動を続け、戦争の語り部としての活動も含め、SNS などを通じても盛んに意見発信をされていらっしゃいます。

戦争がどんなものであったのかを知る方々は少なくなり、凄惨な戦争の実態が次の世代へ引き継がれないことにならないかと強い危惧を覚えます。

村上さんは、戦前父の勤務先転勤に伴い、満洲に一家で移り住んだが、1945 年には父は徴兵され、日本は敗戦。中国の内戦が続く中、凄惨な体験をされます。なぜ妹や母は私に殺されなければならなかったのか、戦争という不条理がそうさせたのだと発言されています。癒しがたい悲しみを残して…。

村上さんの血を吐く思いのお話をきちんと受け止めて、何をなすべきかをご一緒に考えていただければと思います。

村上敏明さんプロフィール

1934 年京都生まれ。父の就職で 1938 年に家族 4 人（父と母と弟）で、大連、新京、四平と移住。敗戦前 5 月妹の芙美子が生まれたが、父は徴兵されソ連国境へ。

1946 年 7 月引き揚げ直前にどこからかの指示で、妹を私の手で殺めた。妹の死後、母は衰弱し、葫蘆島で乗船直前、医師から薬を母に飲ませよとの指示で母は亡くなり、共に孤児となった 3 人と帰国。京都には9月に着いた。弟も帰国後病死。シベリア抑留された父は1948年に帰国。

その後中学を終え、京都市教委に勤めながら、夜間高校・大学で学ぶ。20年前に退職後、現在は主に反原発運動など市民運動に精を出し、戦争体験の語り部として声を挙げている。

主催：三鷹市、NPO 法人中国帰国者の会　　参加費：無料　　定員：60 名（申込不要）

連絡先：NPO 法人中国帰国者の会　　TEL 070-5588-7827